

第15回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第19回 鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
〔同時開催〕

説明資料1

日時:令和8年6月1日(月)午後2時00分～
場所:倉吉河川国道事務所 1階第1～3会議室
(一部オンライン会議併用)

次 第

1. 開会

2. 議事

(1) 令和8年出水期の天候の見込みと気象情報の改善について

(2) 一級河川天神川水系における大規模氾濫時の減災対策にかかる取組みについて

(3) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

・各機関の取組について

(5) 情報提供・意見交換

3. 閉会

(1) 令和8年出水期の天候の見通しと 気象情報の改善について

気象台資料を用いて説明

(2) 一級河川天神川水系における大規模氾濫時の 減災対策にかかる取組みについて

国資料を用いて説明

(3) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

(3) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

県

- 平成29年度に当初策定した『減災に係る取組方針(第1期)』の対象期間(5年)が令和3年度に経過
- 令和4年度にこれまでの取組状況等を踏まえて、第2期目となる『減災に係る取組方針』(対象期間:R4～R8)を策定した。毎年、取組状況をフォローアップしていく。

平成27年9月 関東・東北豪雨災害(鬼怒川の洪水氾濫)

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある

平成27年12月 「水防災意識社会再構築ビジョン」

ポイント ①より実効性のある「住民目線のソフト対策」 ②「洪水氾濫を未然に防ぐハード対策」に加え、「危機管理型ハード対策」 ③地域一体の取組

平成28年8月以降 相次いで発生した台風による豪雨災害(岩手県小本川などの洪水氾濫)
中小河川においても甚大な被害が発生

平成28年11月 「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を都道府県管理河川に拡大

平成29年5月18日 第1回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災対策協議会』設立

平成30年2月7日 第2回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災に係る取組方針(第1期)』策定

5年間で達成すべき目標 河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となったとっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組 ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

令和元年5月29日 第5回 減災対策協議会 **取組方針一部改正** 平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難の有り方研究会の提言等を追加

令和2年5月27日 第6回 減災対策協議会 **取組方針一部改正** 令和元年「水防対策検討会」及び「防災避難対策検討会」に係る提言等を追加

令和4年5月26日 第10回 減災対策協議会 **第2期取組方針策定**

※毎年協議会で取組状況をフォローアップ

5年を
目途に
策定

減災のための目標

第2期(R4～R8)

5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となった、とっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組

- ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
- ②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
- ③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

※引き続き、平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年台風19号、令和5年台風7号を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進する

- ・ 令和8年度が第2期の最終年度
- ・ 完了事業や継続する取り組みを整理し第3期取組方針を策定する

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な**樹木伐採・河道掘削**を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、**計画的に実施**してきたところであり、**台風第7号において、人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果。**

【令和7年度実施箇所】

小田川(岩美町院内)、国府川(倉吉市服部)、日野川(日野町中菅)外

【令和8年度実施予定】

江川(鳥取市福部町海士)、八東川(八頭町万代寺)、日野川(日南町霞)外

予算推移



＜実施要件：5か年加速化対策＞ (R3年度※R2国補正前倒し～R7年度)

- ①流域治水 (事前防災) の位置づけで実施され一定の効果を見込める箇所
- ②次のいずれかに該当する河川
 - ・毎年度実施する維持的な伐開・掘削以外の箇所
 - ・近年浸水実績があった場所
 - ・河川背後や浸水想定区域内に家屋、重要施設がある箇所
 - ・鳥取方式洪水浸水リスク図の浸水範囲 等

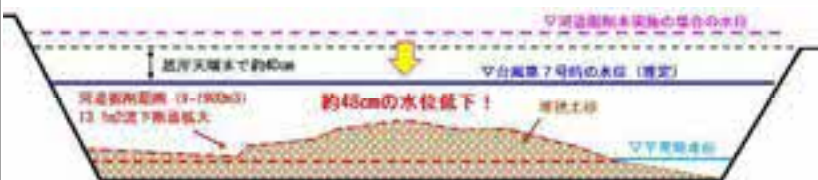
＜実施要件：緊急浚渫事業債＞ (R2年度～R11年度)

- ①県管理河川は全ての箇所が対象※個別計画の提出が必要

効果事例

佐治川 おおい
(鳥取市佐治町尾原)

令和5年
台風第7号襲来時



令和7年度 実施事例



取組3 「鳥取方式」浸水リスク図の公表(済)及び 中小河川浸水想定(想定最大規模)について

R1完了・継続実施

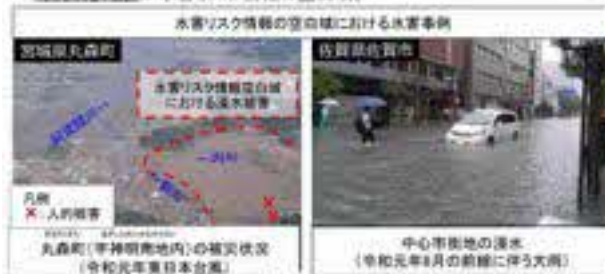
県

水位周知河川等以外の県管理河川を対象に、県民皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、「鳥取方式」浸水リスク図※1を公表済み。（※1シミュレーションの対象降雨は計画規模(1/50 以下は一律 1/50)）
また、令和3年の水防法改正により、水害リスク情報の空白地帯解消を目的に、**想定最大規模での浸水想定区域図及びハザードマップの公表が全ての一級・二級河川や下水道に拡大された。**
浸水想定は令和7年度まで、ハザードマップは令和8年度までの完了を目標※2としている。

※2 令和5年度から浸水想定作成のためのシステムを構築中です。

■水害リスク情報の空白域において浸水被害が多発

・令和元年東日本台風では、堤防が決壊した71河川のうち49河川(約6割)、内水氾濫による浸水被害が発生した135市区町村のうち126市区町村(約9割)が水害リスク情報の空白域。



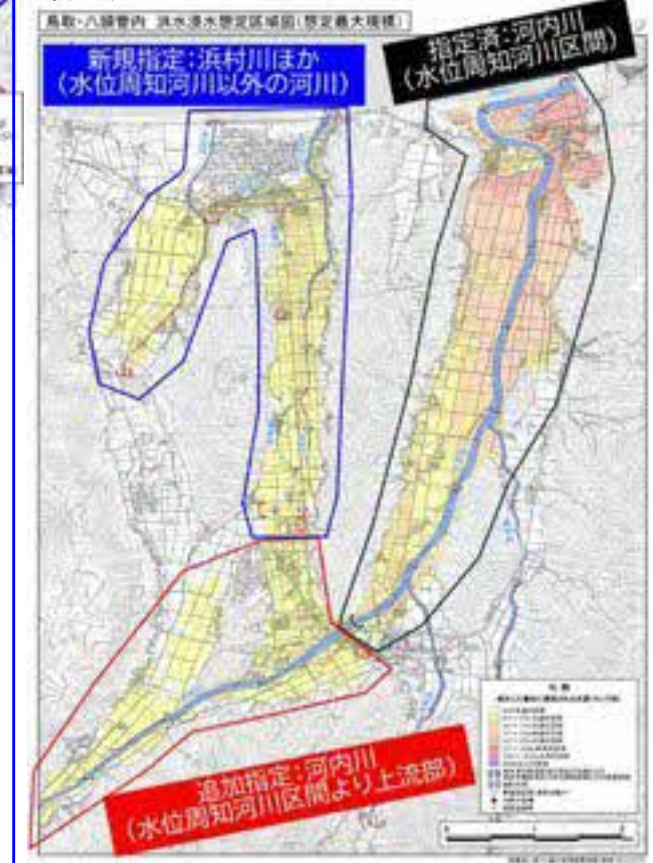
■水防法を改正し、浸水想定区域の指定対象を拡大

・河川(洪水浸水想定区域)では約15,000河川、下水道(雨水出水浸水想定区域)では約1,000団体が新たに指定対象として追加。



＜公表内容の事例＞

想定最大規模の降雨（確率規模約1/1000）時に浸水する深さ



●この度、県管理河川(294河川)のうち沿川に家屋等の防御対象がある279河川について、解析・とりまとめが完了し、関係市町村への説明も終えたことから、**水防法14条の規定に基づき指定・公表を行った。(告示、公表日: 令和8年3月31日)**

➤ スケジュール

○R6～7年度

・県が**対象279河川**の洪水浸水想定図を作成し公表

○R8年度以降

・各市町村が、洪水浸水想定区域図をもとに、ハザードマップを作成予定

➤ 公表先

鳥取県河川課HP

<https://www.pref.tottori.lg.jp/303920.htm>



取組 4 地域の支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上

県

支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

①支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【目 的】マップづくりの推進役として自治会等を支援するスタッフを育成する。

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員、防災士等

【R7実績】(内容)マップづくり体験、個人情報保護法の基礎、災害情報の取得、まちあるきのポイント、ファシリテーションスキルの習得、地域アセスメントについて

(参加者数)188名

(開催日・場所)7/31鳥取県立福祉人材センター、8/4米子コンベンションセンター
8/5、9/8倉吉福祉センター、10/16倉吉体育文化会館

②支え愛マップづくりの取組状況

【目 標】1, 100地区(R9年度末)

【実 績】1, 063地区(R7年度末) 【R7実績】新たに59地区が作成

【取組時に活用いただきたい動画(県社協作成)】

支え愛でまちづくり！～「支え愛マップ」でつながる地域～

<https://www.youtube.com/watch?v=HaDYnCUTO9w>(YouTubeにて公開) 支え愛でまちづくり！～「支え愛マップ」でつながる地域～



取組状況



支え愛マップ作成状況



支え愛マップ完成

マップを活用した避難訓練や救急救命研修を実施



⇒水害・土砂災害に備え、防災・土木部局が連携して、自治会等に安全な避難場所・経路等について助言するとともに、マップを活用した訓練の実施をサポートしながら、地域防災力の強化を図っていく。

あんしんトリピーメール・防災アプリ「あんしんトリピーなび」

県

県内の防災・危機管理情報をいち早くお届けします。いざというとき必要な情報を受け取れるようあらかじめ登録・ダウンロードをしておきましょう。

■欲しい情報が選べます

 気象警報・注意報 大雨警報、大雪警報、大雨特別警報 等	 公共交通情報 列車の遅延、航空機の欠航 等
 地震情報 震度3以上	 道路情報 道路の通行止め 等
 津波情報 大津波警報、津波警報、津波注意報	 ライフライン情報 停電情報 等
 気象情報 土砂災害警戒情報、竜巻注意情報 等	 生活・健康情報 黄砂、熱中症警戒アラート、感染症情報 等
 防災・危機管理情報 避難情報(避難指示等)、国民保護情報	 防犯情報 不審者、行方不明者情報 等

■登録・ダウンロード無料

メール受信、ダウンロードにかかる通信費は利用者の負担となります
※通信費は携帯会社との契約内容によって異なります

■登録方法はこちら

県の公式ホームページ（とりネット）で
登録・ダウンロード方法をご案内しています
以下のQRコードを読み取ると該当ページに
アクセスできます

■あんしんトリピーメール



■防災アプリ
あんしんトリピーなび



あんしんトリピーメール

登録された方の携帯電話やスマートフォンに電子メールで
お知らせするサービスです。

■テキスト版と背景色版が選べます

背景色版では、内容によってメール本文の背景色が変わります

赤▶気象特別警報、気象警報の発表や避難情報、国民保護情報など

黄▶気象注意報の発表、通行止め発生情報、生活・健康情報など

青▶気象警報・注意報の解除、通行止め解除情報、停電復旧情報など



防災アプリ（あんしんトリピーなび）

鳥取県が提供する総合防災アプリです。

多言語
対応

■お知らせを一覧で表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します（プッシュ通知も可能）

■最寄りの避難所等を自動リストアップ

マップで現在地からの経路を自動表示します

■河川・道路状況のライブ画像

河川水位や道路の積雪等の状況を確認できます

■多言語表示に対応

端末の設定言語に応じてアプリ内
の表示言語が切り替わります

対応言語

英語、中国語（繁体字）、
中国語（簡体字）、韓国語、
ロシア語、ベトナム語、
フィリピン語、タイ語、
インドネシア語



複数のシステム・サイトで分散して提供されている**防災情報を集約したポータルサイト**です。
 (R6.6公開、R7.4機能追加)。
 速やかな情報発信により県民に対して適時的確な避難行動を促します。



スマートフォンでも閲覧
しやすいデザイン



防災情報の一覧表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します。

気象警報などの防災情報を地図上で重ね合わせて表示

地図上で重ね合わせて各種防災情報を表示することで、緊急時にも使いやすく、分かりやすい形で情報を提供します。

アクセス集中時の安定稼働

サイトへのアクセスが集中した時でも安定して動作するサイトです。

防災情報

- ・気象
- ・停電
- ・公共交通
- ・通行規制
- ・お知らせ
- …など

地図表示

- ・気象警報
- ・道路監視カメラ
(ゆきみちナビ)
- ・河川監視カメラ
- ・ダム、河川水位
- ・雨量
- ・積雪深

取組7、8 河川監視カメラ、水位計の設置状況

継続実施

県

- 重要水防区域や洪水の恐れのある箇所、河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等を必要な箇所に継続して設置していく。

【設置状況】（R8.3時点）

河川水位計 : 70局
危機管理型水位計 : 103基
河川監視カメラ : 175箇所

※R8年度は、河川監視カメラ1基箇所設置予定

公開サイト

鳥取県防災情報ポータル（鳥取県危機管理部提供）

<https://tori-bousai.jp/>

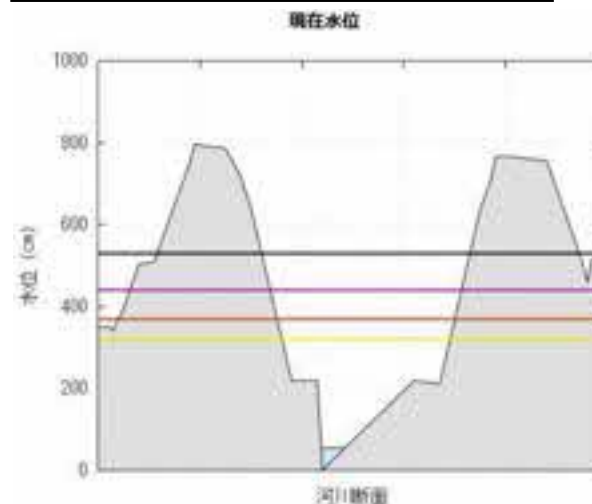
※河川課の河川監視カメラ提供システム、道路企画課の雪みちナビ等を集約したサイトを構築したもの



監視カメラ画像：大路川（鳥取市吉成）



水位計画像：大路川（鳥取市吉成）



危機管理型水位計の設置事例：江東川（大山町清原）



【危機管理型水位計の課題】

2～3年での修繕事例が多く、本体交換の事例も必要
（設置費用は安価だが、維持管理費用が増加する場合もある）

- 平成30年7月豪雨により愛媛県の肱川(ひじかわ)の野村ダム・鹿野川ダムなど多数のダムで、計画規模を上回る降水により異常洪水が発生し、下流域で氾濫被害が発生した。
- 鳥取県ではこの事象を教訓に、「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」を設置し、とりまとめた内容を踏まえ、「豪雨災害での犠牲者ゼロ」を目指してハード・ソフト対策を進めている。 ※研究会ではダムだけではなく、防災意識醸成、避難体制等についてもとりまとめ

＜とりまとめた「ダム放流の安全・避難対策」と⇒進捗＞

■継続した取組が必要な対策

- ・ ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める
- ・ 堆砂対策の推進 ⇒ ダム再生事業として検討中
- ・ ダム機能、ダムの放流リスクの住民周知
⇒ 住民説明会や避難訓練の実施
- ・ 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施

■うち比較的短期間に実施できる対策

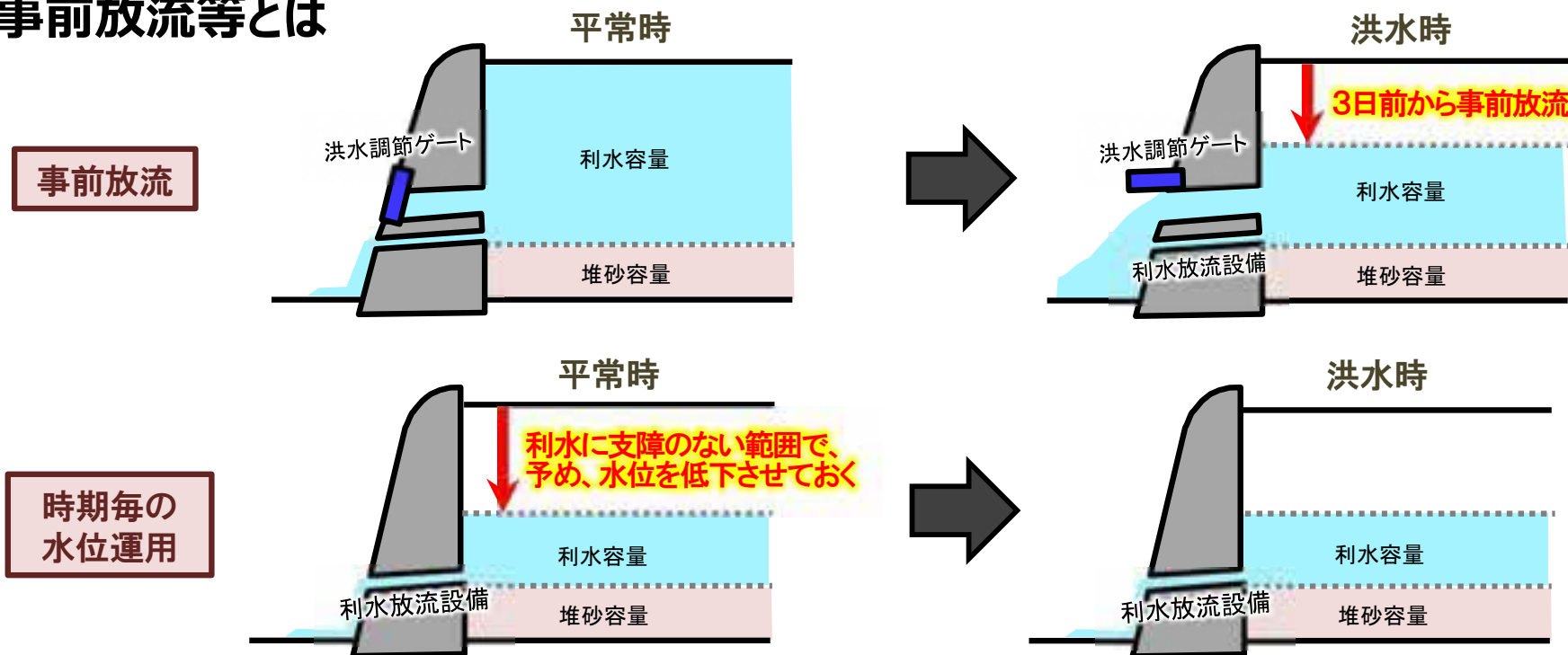
- ・ 利水調整関係者協議と事前放流の積極的实施に関する利水調整
⇒ 構造的に事前放流が可能な県内全てのダムで令和2年8月までに「治水協定」を締結済み
- ・ ダム流入予測システムの導入
⇒ 令和2年度に導入し、令和4年6月に本格運用開始
(佐治川ダム、賀祥ダム)
- ・ ダム下流部の浸水想定区域図の作成 ⇒ 令和3年6月公表
(公表までに住民説明を実施)
- ・ 水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等
あらたな情報配信の検討⇒ 水位計、ライブカメラの増設
警報局の増設と放送文の改善



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

- ◎ 令和元年東日本台風を受け、令和元年12月、政府は、『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』を打ち出しました。これにより、
 - ① 全国全ての既存ダム(治水ダム・利水ダムともに)で『事前放流等』を実施する。
 - ② 水系毎に、河川管理者・ダム管理者・関係利水者が一同で、事前放流等の方法等を記した『治水協定』を締結する。 ことになりました。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調節機能の強化を図っています。

事前放流等とは



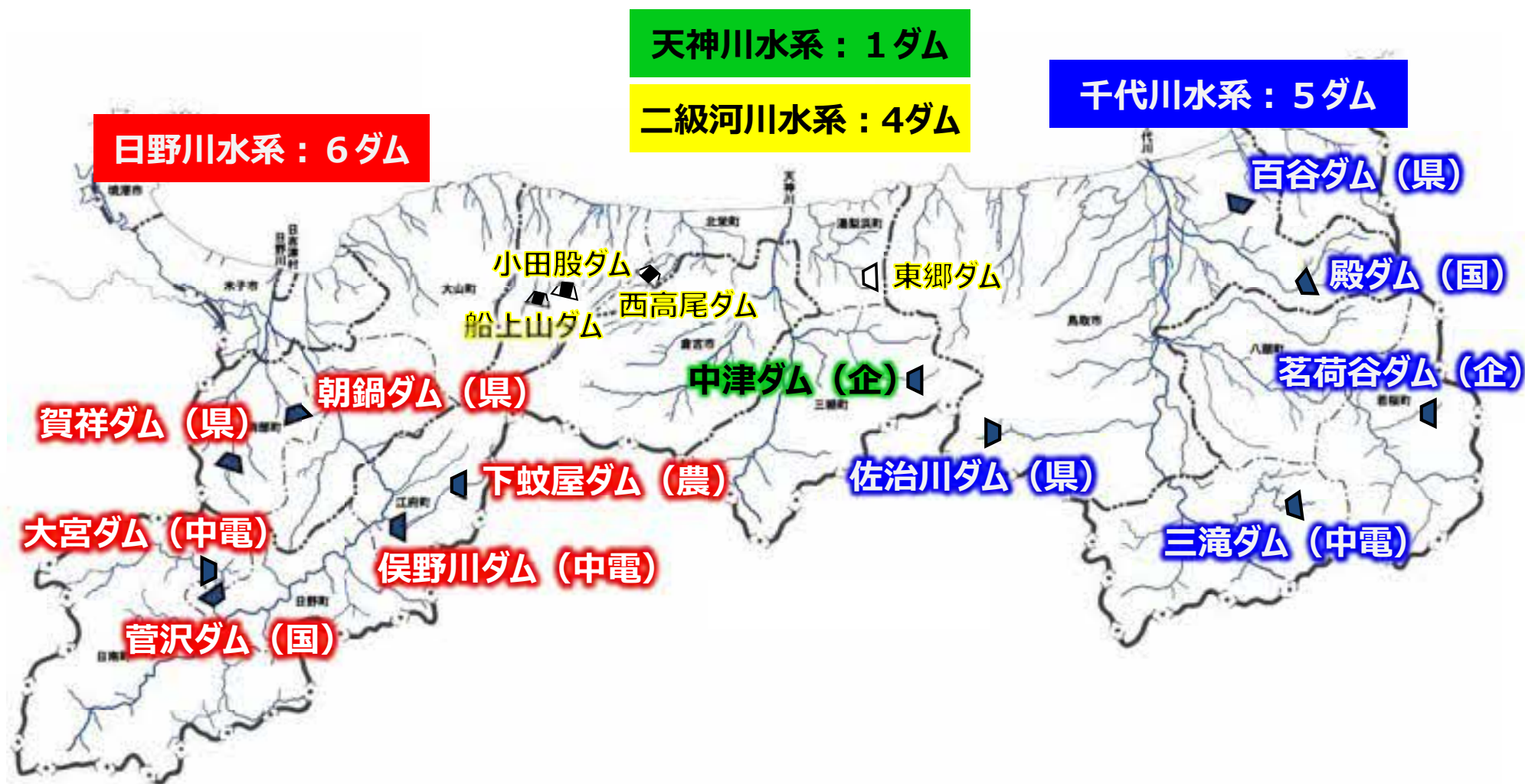
既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注1	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
天神川	中津ダム	企業局	121万m ³	-	121万m ³	346mm	78.3万m ³
橋津川	東郷ダム	県	65万m ³	46万m ³	19万m ³	-	5.4万m ³
由良川	西高尾ダム	北栄町 琴浦町	38.7万m ³	-	38.7万m ³	-	13.8万m ³
洗川	小田股ダム	北栄町 琴浦町	39.0万m ³	-	39.0万m ³	-	14.5万m ³
勝田川	船上山ダム	北栄町 琴浦町	11.3万m ³	-	11.3万m ³	-	4.0万m ³

(※注1) ①累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

②東郷ダム、西高尾ダム、小田股ダム、船上山ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組



安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

天神川圏域における取組状況（令和8年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小学校における防災教育の実施 令和7年度（聖郷小学校）

- 小学5年生を対象に、土砂災害の種類、危険な場所、大雨情報の知り方などを学び、安全、迅速な避難の知識を学んだ。
- 模型を用いて土砂災害のメカニズムを学ぶとともに、堰堤などの対策施設の効果を学んだ。



聖郷小学校（2/24）

小学校における防災教育の実施 令和7年度（明倫小学校）

- 小学4年生を対象に、県内で行った水害や土砂災害、また避難の重要性について学んだ。
- 各自がタブレットを実際に操作して、気象情報やハザードマップを確認し、活用方法を学んだ。



明倫小学校（11/4）

【水防対策（ハード対策）】

●河道掘削・樹木伐採の実施

出水等により河川内に堆積した土砂の除去及び樹木伐採を実施し、河川の安全・安心の向上を図った。

国府川（倉吉市服部）



安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

鳥取県における取組状況（令和8年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

- ・『洪水・土砂災害』の概要、水害リスク、流域治水の取組、避難等を小学校を中心に防災学習、出前説明を実施した。
- ・防災フェスタに水防に関する展示を行い、防災意識の向上を図った。
- ・住民の防災意識向上、避難行動促進のため、子どもへの防災学習は非常に有効であるため、令和8年度も引き続き実施していく。

【主な実施状況】

- ・ 7月15日 修立小学校 5年生35名
- ・ 10月 2日 津ノ井小学校 4年生25名
- ・ 10月23日 米里小学校 4年生 23名
- ・ 9月20日 防災フェスタ開催（展示出店）
- ・ 11月10日 宝木地区住民防災学習
- ・ 6月26日 FM鳥取出演
- ・ 7月 8日 FM米子出演



土砂災害、流域治水の模型実験の様子

小学校における防災教育の実施



FM ラジオへの出演



FM米子(DAEAZ FM)出演



防災フェスタの実施状況



【水防対策（ハード対策）】

- ・令和元年台風19号の甚大な浸水被害が発生したことを踏まえ、本県の課題の抽出及び取り組むべき対策を検討するため、有識者・関係行政機関で構成する「水防対策検討会」を設置した。
- ・検討会による提言をうけ、速やかに取組を進め早期に効果を発現させるべき内容について、事業を実施中。

【提言内容】

「できる限り越水による堤防決壊を遅らせて避難の時間を稼ぐ対策（粘り強い堤防）」及び「バックウォーター対策」を短期的に取り組むべき。

【事業内容】

- ①堤防強化対策（堤防舗装、大型土のう購入）
- ②浸水想定区域に関する住民理解促進（浸水表示板の設置）
- ③バックウォーター対策（樹木伐採・河道掘削）
- ④河川情報（水位計・河川監視カメラ）の発信強化
- ⑤ダム放流に関する安全・避難対策（説明会の開催）

堤防舗装の実施状況

- ・令和5年度予算までで、予定していた重要水防A区間及びバックウォーター箇所等の優先箇所の対策が完了した。
- ・今後は、未実施である重要水防区間Bや個別の優先すべき箇所を引き続き実施していく。

精進川（米子市尾高）



着工前



完成

大路川（鳥取市吉成）



着工前



完成

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

令和3年度にモデル地区（大路川流域）で協議会を設立し、流域のあらゆる関係者と連携して流域治水の様々な取組を進め、令和6年度からその成果を全県に展開している。



流域治水の概要

近年激甚化・頻発化する水災害に対応するため、河川整備を促進させながら、流域のあらゆる関係者が協働で取り組む「流域治水」を推進している。

<流域治水の目的>

降雨流域全体（河川区域、集水域、氾濫域）で対策を総動員し、

- ①豪雨時に雨水を貯留すること等により、避難する時間を少しでも稼ぐ。
- ②取組全体を通して、防災意識を向上させ、住民の確実な避難行動に結びつける。

<取組事例>

河川整備・監視体制強化、防災学習、避難訓練、雨水貯留タンク、田んぼダム、校庭貯留など

⇒（ポイント）流域治水はあらゆる関係者が「自分事」として、取り組むことが重要である。

洪水被害軽減の種類

- ①河川の流下能力向上
- ②貯水による水位低下
- ③防災意識の向上
- ④早期避難
- ⑤情報発信による避難誘導



河川整備

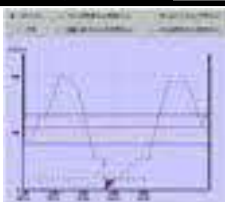


計画規模（1/50等）での整備を推進

⇒整備に時間と費用を要する。

（大路川40年間、140億円）
（殿ダム27年間、888億円）

監視体制の強化、情報発信



増水時の河川状況を確認するため、監視カメラ及び水位計を設置し情報発信

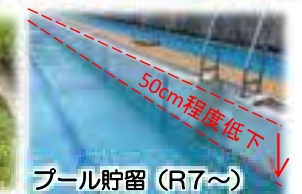


雨水貯留

雨水貯留タンク（R5～）



田んぼダム（R3～）



プール貯留（R7～）

河川への流入を抑えるため、様々な手法で雨水貯留対策を推進。これらの取組は初期雨量に対する効果、避難時間を確保する効果がある。

リスクの把握



県が想定最大規模の浸水想定区域図を作成し、市がハザードマップに反映
浸水深表示板による見える化も実施中

防災学習、イベント参加



2025岩倉小防災学習

2025防災フェスタ

2025鳥取市総合防災訓練

小学校、地元住民への防災学習を実施

避難訓練、備蓄



美保南地区避難訓練

災害発生時の被害を軽減するため、地区・町内単位で避難訓練や備蓄を実施

- モデル地区での取組をまとめた「大路川流域治水ビジョン」を活用しながら、令和7年度は、情報発信、雨水貯留タンク設置に合わせた防災学習等に注力し、流域治水の取組を周知の拡大を図りました。
- 令和8年度も引き続き、全県展開を進めていきます。

＜県内関係機関への周知＞

国、県、全市町村のほか関係機関が出席する「流域治水及び減災対策協議会」でビジョン内容を紹介



＜防災学習の実施＞

県内小学校等で水害リスクや流域治水等の防災学習を実施

泊小学校 R6.6.18



賀祥ダム R6.12.7



修立小学校 R6.9.18



＜雨水貯留タンクの試行設置拡大＞

中部、西部にも雨水貯留タンクの試行設置を拡大(R6:4基、R7:4基)

＜広報誌の発行＞

- ・大路川流域治水通信
- ・若葉台地区自治会だより

＜報道機関による情報発信＞

試行設置の状況をテレビ、新聞で取り上げていただき、広く住民に周知

R6.11.12
日本海新聞



R6.11.14
日本海ケーブルネットワーク



＜防災フェスタ、グッズ配布＞

防災フェスタで流域治水模型による来場者への周知あわせて、流域治水グッズを配布

流域治水
クリアファイル



R6.9.15
防災フェスタ

＜ラジオ出演＞

ラジオ出演による流域治水の紹介

9/19 FM鳥取(RADIO BIRD 82.5)

10/4 FM米子(DARAZ FM 79.8MHz)

橋津川外流域治水プロジェクト（県中部東エリア）【位置図】

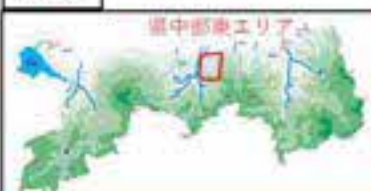
～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。

このうち、橋津川については、東郷池周辺において、多くの浸水被害が発生した平成23年9月台風12号洪水と同規模の洪水から家屋浸水被害の軽減を図ります。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。

位置図



■ 泥濘をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・築堤護岸
- ・河道掘削・樹木伐採・堤防強化
- ・水門の長寿命化対策
- ・排水機場の整備
- ・間伐等の森林整備
- ・治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
- ・遊覧路確保のための道路嵩上げ
- ・東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築
- ・田んぼダムによる流出抑制対策、等

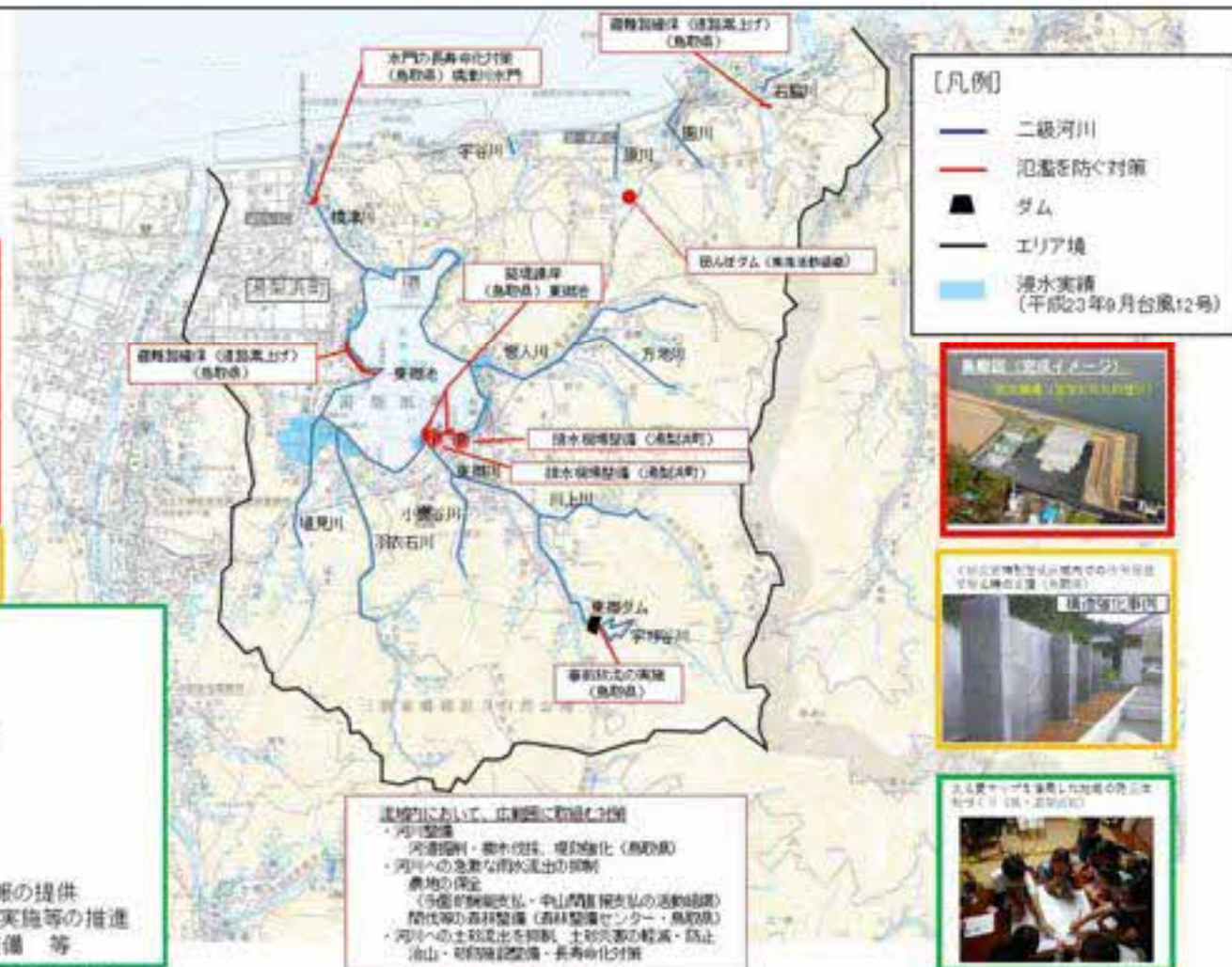
■被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
- ・土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
- ・水位計・監視カメラの設置
- ・まるごとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施
- ・避難スイッチの取組推進
- ・ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施
- ・広域的な避難の必要性の検討
- ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- ・あんしんトリプルメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- ・要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進
- ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備 等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



橋津川外流域治水プロジェクト（県中部東エリア） 【ロードマップ】

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中期】東郷池の築堤護岸整備等を行う。

【中長期】橋津川水門の長寿命化対策を行う。

あわせてエリア内河川の河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
災害をできるかぎり減らすための対策	（東郷池）築堤護岸	鳥取県			
	（県管轄区間）河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	（橋津川）水門の長寿命化対策	鳥取県			
	金山地区の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	初級防災施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	（石見地区、上流地区）避難所となる道の駅・六（県道）沿見見谷谷、県道東郷池線外	鳥取県			
	東郷ダムにおける事前放り込み実施、体制構築	鳥取県			
	河川等の森林整備	森林整備センター 鳥取県			
	（石見地区）洪水浸襲対策 2箇所	鳥取県 鳥取市			
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動協議	原地区		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域域内での住宅建て替え時の時の支援	鳥取県 鳥取市			
	土砂災害警戒区域域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県			
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県			
	まるとまるとハザードマップ、浸水予測図の設置の実施	鳥取市			
	避難スイッチの取組推進	鳥取県 鳥取市			
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	鳥取市			
	広域的な避難の必要時の検討	鳥取県 鳥取市			
	防災マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市			
	あんしんよりメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 鳥取市			
	緊急時にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進	鳥取市			

橋津川外流域治水プロジェクト(県中部東エリア)(フォローアップ資料)			R7年度末時点 取組状況				〔評価凡例〕 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R7年度 対象外:ー)			
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(東郷池)築堤護岸	鳥取県					○	築堤護岸等(松崎工区)	築堤護岸等(松崎工区)	
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	河道掘削・樹木伐採(東郷川外)	河道掘削・樹木伐採(橋津川外)	
	(橋津川水門)水門の長寿命化対策	鳥取県					○	更新工事(制水ゲート開閉装置)	更新工事(制水ゲート開閉装置)	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	治山施設整備(藤津地区外)	治山施設整備(藤津地区外)	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	砂防施設整備(泊谷川・川上川外)	砂防施設整備(泊谷川・川上川外)	
	(石脇地区、上浅津地区外)避難路となる道路の嵩上げ(県道泊納見青谷線、県道東郷湖線外)	鳥取県				石脇地区	ー	ー	ー	
						上浅津地区外	ー	ー	ー	
	東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築	鳥取県					○	事前放流の実施	事前放流の実施	
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県					ー	事業無し	事業予定無し	
						(鳥取県)	○	間伐実施済み	間伐継続実施	
	(松崎地区)排水機場整備 2箇所	鳥取県 湯梨浜町					(鳥取県)	○	水門整備(新町川)	水門整備(新町川)
						(湯梨浜町)	○	新町川排水機場の工事着手	新町川排水機場の工事完了	
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	原地区				原地区	○	(活動再開)実施予定1,372aのうち、59%で実施見込み	実施予定1,372aのうち、65%で実施見込み	
							○	R6「しじみの里」に試行設置済		
洪水の流出を抑制する雨水貯留タンクの試行設置	鳥取県					鳥取県	○	R6「しじみの里」に試行設置済		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の時の支援	鳥取県 湯梨浜町				(鳥取県)	○	建て替え時の支援として市町への補助金を確保(実績無し)	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	
						(湯梨浜町)	△	該当する相談なし	引き続き相談を受け付け	
土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	高精度な地形情報により抽出した新規調査候補箇所等の基礎調査を実施	
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)	
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県					ー	ー	ー	
							○	ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置・運用	ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置・運用	
	まるとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施	湯梨浜町				(湯梨浜町)	○	新規の設置無し。設置済みの浸水深表示板について該当地区へ説明。	浸水深表示板の説明と地区への普及。	
	避難スイッチの取組推進	鳥取県 湯梨浜町				(鳥取県)	○	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スイッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スイッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援	危機管理部
						(湯梨浜町)	○	集落の防災講習会に出向き避難スイッチについて説明	集落の講習会に出向き取り組みを推進	
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	湯梨浜町					△	実施なし	新たな監視カメラを設置した箇所に説明会の実施	
	広域的な避難の必要性の検討	鳥取県 湯梨浜町				(鳥取県)	○	広域避難体制の整備等を行う市町村を交付金で支援	広域避難体制の整備等を行う市町村を交付金で支援	危機管理部
						(湯梨浜町)	○	災害ケースと町内の避難経路を確認	広域避難となるケースと範囲を確認	
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 湯梨浜町				(鳥取県)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	危機管理部
						(湯梨浜町)	○	支え愛マップの更新、新規作成のため社会福祉協議会が集落へ出向いて説明	引き続き、社会福祉協議会の協力により支え愛マップの取り組みを支援	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 湯梨浜町				(鳥取県)	○	小学校と連携して防災教育を実施	小学校と連携して防災教育の実施を検討	
						(湯梨浜町)	○	各自治会等の実施する防災講習、避難訓練で意識啓発	各自治会、福祉施設、教育団体で実施する防災講習・避難訓練で意識啓発	
	あんしんトリブメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 湯梨浜町				(鳥取県)	○	あんしんトリブメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNSを活用した防災・危機管理情報の発信、気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」の運用を実施する。また、総合防災情報システムを活用し県民向けに避難情報や避難所情報等を発信する防災Webの運用も開始。	あんしんトリブメール、アプリのほか、気象情報や河川・道路カメラ映像を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」、避難情報や避難所情報等を発信する防災Webといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNS、Yahoo!防災といった民間サービスを活用した防災・危機管理情報の多様な手段を用いた情報発信を行う。	危機管理部
						(湯梨浜町)	○	ヤフー防災速報、町公式LINEを活用して防災情報を配信	引き続き情報配信ツールを活用して防災情報を提供	
感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	湯梨浜町					○	避難所用に簡易トイレ、ラップボン、マンホールトイレの導入	避難所用にスポットクーラー、ストーブ、ポータブル電源の導入		
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進	湯梨浜町					○	個別避難計画の様式を変更	要配慮者リストや個別避難計画を自主防災組織へ周知して支え愛マップ等の作成支援につなげる。		

由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）【位置図】

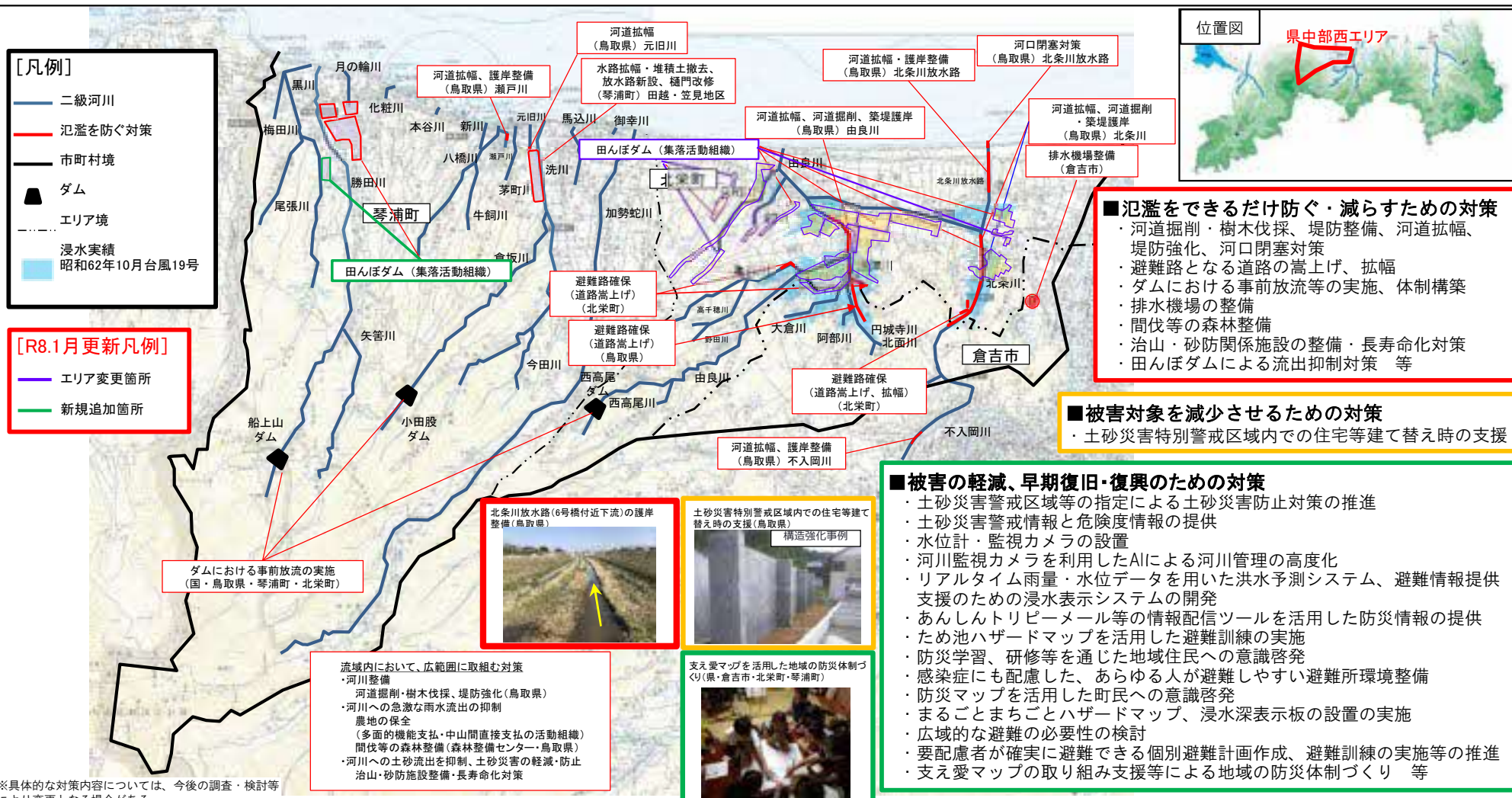
～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

【R8年1月更新】

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。

このうち、由良川・北条川については、観測史上最大被害である昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、家屋の浸水被害軽減を図ります。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

二級水系由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）

【ロードマップ】

【R8年1月更新】

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】北条川放水路の護岸整備、河口閉塞対策等を行う。

【中期】北条川放水路上流域における北条川の河道拡幅・河道掘削・築堤護岸整備等を行う。

【中長期】由良川の河道拡幅・河道掘削・護岸整備等を行う。

あわせて、エリア内河川の河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(由良川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県			
	(北条川)河道拡幅・河道掘削・護岸整備	鳥取県			
	(北条川放水路)河道拡幅・河道掘削・護岸整備・河口閉塞対策	鳥取県			
	(県管理区域)河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	(不入岡川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県			
	(瀬戸川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県			
	(元旧川)河道拡幅	鳥取県			
	ダム(船上山、小田股、西高尾)における事前放流の実施、体制構築	鳥取県 中国四国農政局 北条町、琴浦町			
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター			
	(瀬手、穂波地区)避難路となる道路の嵩上げ (県道倉吉由良線外、町道穂波連絡道線外)	鳥取県 北条町			
	(米里地区)避難路となる道路の嵩上げ、拡幅(町道米里北尾線、米里12号線)	北条町			
	(大島地区)避難路となる道路の嵩上げ(町道島嶺道線、町道高千穂穂波線)	北条町			
	(古川沢地区)排水機場整備	倉吉市			
	(田越・笠見地区)水路拡幅・堆積土撤去、放水路新設、樋門改修	琴浦町		(新規追加)	(エリア変更)
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織			琴浦町出上地区、八幡地区、水一帯地区、倉吉市北条島地区、南郷地区、西郷地区、マシ島地区、瀬戸地区、西西郷地区、倉吉地区、田井地区、松井地区、瀬戸地区、大島地区
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、倉吉市 北条町、琴浦町			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県			
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県			
	河川監視カメラを利用したAIによる河川管理の高度化(北条川で試行)	鳥取県			
	リアルタイム雨量・水位データを用いた洪水予測システム、避難情報提供支援のための浸水表示システムの開発(北条川で試行)	鳥取県			
	あんしんトリビュートメールや防災アプリ等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、倉吉市 北条町、琴浦町			
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	倉吉市、北条町 琴浦町			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、倉吉市 北条町、琴浦町			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	倉吉市 北条町、琴浦町			
	防災マップを活用した住民への意識啓発	倉吉市、北条町 琴浦町			
	浸水深表示板の設置	倉吉市			
	支援マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、倉吉市 北条町、琴浦町			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	倉吉市 北条町、琴浦町			

R7年度末時点 取組状況

【評価凡例】 前倒しで実施：◎、予定通り実施：○、作業中：△、未着手：×、R7年度 対象外：－

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
			短期	中期	中長期					
汎用をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(由良川)河道拡幅・河道掘削・堤防護岸	鳥取県					○	堤分遡上対応（大島地区）	堤分遡上対応（大島地区）	
	(北条川)河道拡幅・河道掘削・堤岸整備	鳥取県					○	測量・設計、北条地区の用地買収等	測量・設計、北条地区の用地買収等	
	(北条川)放水路)河道拡幅・河道掘削・堤岸整備・河口閉塞対策	鳥取県					○	堤岸整備、河口閉塞対策（弓原地区）	堤岸整備、河口閉塞対策（弓原地区）	
	(県管理区域)河道掘削・樹木伐採						○	河道掘削・樹木伐採（洗川外）	河道掘削・樹木伐採（洗川外）	
	(不入岡川)河道拡幅・堤岸整備	鳥取県					○	河道拡幅・堤岸整備	河道拡幅・堤岸整備	
	(瀬戸川)河道拡幅・堤岸整備	鳥取県					－	整備済み	整備済み	
	(元旧川)河道拡幅	鳥取県					○	用地買収・工事	工事	
	ダム（船上山、小田股、西高尾）における事前放流の実施、体制構築	鳥取県 中国四国農政局 琴浦町				（中国四国農政局）	○	治水協定に基づく貯水水位運用実施	治水協定に基づく貯水水位運用の継続。	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					－	－	－	
	砂防施設施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	砂防施設整備（公文寺谷川外）	砂防施設整備（公文寺谷川外）	
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センタ- 鳥取県				（林野庁） （森林整備センタ-）	－	事業実施なし 25haの間伐等実施	事業予定なし 30haの間伐等予定	
	(米里地区)避難路となる道路の床上げ、拡幅（町道米里北尾線、米里12号線）	北栄町				（米里地区）	－	米里北尾線はR6から休止。米里12号線はR6で完了。	米里北尾線はR6から休止。米里12号線はR6で完了。	
	(大島地区)避難路となる道路の床上げ（町道島崎道線、町道高千穂西穂波線）	北栄町				（大島地区）	△	R7年度調整のため休止。	R7年度調整のため休止。	
	(古川沢地区)排水機増設	倉吉市				（古川沢地区）	－	R3年度整備済み	R3年度整備済み	地域整備課
	(田越・笠見地区)水路拡幅・堤防土撤去、放水路新設、樋門改修	琴浦町					○	水路新設を実施	水路拡幅工事を見送り予定	
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	県庁活動組織				出上地区	○	実施予定3,524ha全てについて実施見込み	実施予定3,524ha全てについて実施見込み	
						八幡地区	○	実施予定3,785ha全てについて実施見込み	実施予定3,785ha全てについて実施見込み	
						大一垣地区	○	実施予定5,527haのうち、83%で実施見込み	実施予定5,527haのうち、83%で実施見込み	R7追加
						北条島地区	○	実施予定2,100haのうち、0%で実施見込み	実施予定2,100haのうち、60%で実施見込み	
						東端地区	○	実施予定1,550haのうち、15%で実施見込み	実施予定1,550haのうち、60%で実施見込み	
						西端地区	○	実施予定1,250haのうち、12%で実施見込み	実施予定1,250haのうち、60%で実施見込み	
						六尾地区	○	実施予定1,070haのうち、34%で実施見込み	実施予定1,070haのうち、60%で実施見込み	
						原地区	○	実施予定3,700haのうち、22%で実施見込み	実施予定3,700haのうち、60%で実施見込み	
						由良宿地区	○	実施予定600haのうち、8%で実施見込み	実施予定600haのうち、60%で実施見込み	
						妻波地区	○	実施予定3,000haのうち、17%で実施見込み	実施予定3,000haのうち、60%で実施見込み	
						田井地区	○	実施予定1,500haのうち、37%で実施見込み	実施予定1,500haのうち、60%で実施見込み	
						松神地区	○	実施予定1,560haのうち、54%で実施見込み	実施予定1,560haのうち、60%で実施見込み	
						瀬戸地区	○	実施予定2,030haのうち、10%で実施見込み	実施予定2,030haのうち、60%で実施見込み	
						大島地区	○	実施予定4,250haのうち、24%で実施見込み	実施予定4,250haのうち、60%で実施見込み	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				（鳥取県） （倉吉市） （琴浦町） （北栄町）	○ ○ － －	建て替え時の支援として市町への補助金を確保（実施無し） レフト区域内の住宅の建て替え等経費の補助を実施 特になし 特になし	建て替え時の支援として市町への補助金を確保 継続実施 特になし 特になし	建築住宅課
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形改良箇所、防災工事完了箇所の基礎調査を実施	高精度な地形情報により抽出した新規調査候補箇所等の基礎調査を実施	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信（情報提供）	気象台と連携し情報発信（情報提供）	
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県					－	－	－	
	河川監視カメラを利用した水位による河川管理の高度化（北条川で試行）	鳥取県					○	ため池遠隔監視装置（カメラ、水位センサー）の運用	ため池遠隔監視装置（カメラ、水位センサー）の設置・運用	
	リアルタイム雨量・水位データを用いた洪水予測システム、避難情報提供支援のための洪水表示システムの開発（北条川で試行）	鳥取県					○	北条川で試行	北条川で試行	
	あんしんトリビュールや防災アプリ等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				（鳥取県） （倉吉市） （琴浦町） （北栄町）	○ ○ ○ ○	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X（旧Twitter）等のSNSを活用した防災・危機管理情報の発信、気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」、避難情報や避難所情報等を発信する防災Webといった県運営ツールに加え、X（旧Twitter）等のSNS、Yahoo!防災といった民間サービスを活用した防災・危機管理情報の多様な手段を用いた情報発信を行う。 防災行政無線屋上拡声器、戸別受信機、聴覚障害者用文字表示機、防災放送アプリ、Eメール、LINE、X、Facebookへ防災情報を一斉配信 LINE等を活用した防災情報の提供 防災無線情報をスマホアプリで受信できる仕組みを開始（情報配信ア	危機管理部 防災安全課 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施	
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				（倉吉市） （琴浦町） （北栄町）	○ ○ ○	鳥取県ため池サポートセンターと連携し、管理者や地域住民を支援 ため池周辺の集落での研修時にリスクを周知 継続実施	高尾地域と実施に向けた協議を行う 継続予定 継続実施	地域整備課
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				（鳥取県） （倉吉市） （琴浦町）	○ ○ ○	小学校と連携して防災教育を実施。 地域の防災研修等で早期避難の重要性等を啓発 集落等での研修会により啓発を実施	小学校と連携して防災教育の実施を検討 継続実施 研修等で啓発を実施	防災安全課
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	倉吉市 琴浦町 北栄町				（倉吉市） （琴浦町） （北栄町）	○ ○ ○	マンホールトイレ等整備（8か所）、テント型パーティション整備 避難所環境に係る資機材整備を実施 継続実施	避難所の環境整備（簡易トイレ、簡易ベッド、スポーツクーラー等） 避難所環境に係る資機材整備を実施 継続実施	防災安全課
	防災マップを活用した住民への意識啓発	倉吉市 琴浦町 北栄町				（倉吉市） （琴浦町） （北栄町）	○ ○ ○	市が経費負担と共に、防災普及指導員が作成支援を行い、自主防災組織と連携する防災マップを継続更新 集落等での研修会により啓発を実施	継続実施 研修等で啓発を実施	防災安全課
	浸水深表示板の設置	倉吉市				（倉吉市）	○	継続実施	継続実施	防災安全課
	支援愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				（鳥取県） （倉吉市） （琴浦町） （北栄町）	○ ○ ○ ○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 市社協等と連携し、自治公民館による支援愛マップの作成を支援 支援愛マップづくりの取組推進等の実施 継続実施	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 継続実施 支援愛マップづくりの取組推進等の実施 継続実施	危機管理部 福祉課
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成の推進	倉吉市 琴浦町 北栄町				（倉吉市） （琴浦町） （北栄町）	○ △ ○	民生委員等と連携し、個別避難計画の作成を推進 支援愛マップに取り組んだ集落や自主防災組織に対して計画作成の作成協力を依頼 継続実施	継続実施 支援愛マップに取り組んだ集落や自主防災組織に対して計画作成の作成協力を依頼 継続予定	長寿社会課 福祉課

流域治水分科会

令和4年2月16日の「鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会」において、これまでの検討に加え、内水被害等の軽減に資する流域治水対策についても議論していくこととしました。令和4年3月に中部管内の各市町ごとに分科会を立ち上げて、市町により抽出された課題への対策について、各分科会で市町・県の関係者が集まって議論を行っているところです。…事務局は、各市町担当課

< 検討経緯 >

- R3. 12末 抽出した課題に対して「課題・対策整理表」による対策(案)の整理・検討を開始。
- R4. 2. 16 減災対策協議会において流域治水に関する分科会設置等を了承。
- R4. 3中旬 関係課による打合せを行い、流域治水の「分科会」を立上げ。
- R4. 4中旬 分科会（第1回）を開催。
- R4. 5～12 分科会（現地検討会等を含む）（第2, 3回）を開催。
- R5. 4～11 分科会（令和5年度第1, 2回）を開催。
- R6. 5～R7. 1 分科会（令和6年度第1, 2回）を開催。
- R7. 5～R8. 3 分科会（令和7年度第1, 2回）を開催。
- R8. 5～R9. 3 分科会（令和8年度）を開催（2回程度予定）。

< 今後のスケジュール(令和7年度) >

- ◇R8.5月頃:協議会において主要箇所の進捗状況を報告
- ◇ ～ 11月:各対策の実施について検討及び分科会構成員間で意見交換
- ◇必要に応じて「流域治水プロジェクト」の改訂案を作成(実施可能なものからプロジェクトに掲載)

※「課題・対策整理表」、「流域治水プロジェクト」は毎年更新

倉吉市分科会

【構成員】倉吉市：総務部 防災安全課
建設部 建設課、地域整備課
上下水道局 工務課

鳥取県：生活環境部 暮らしの安心局 水環境保全課
中部総合事務所 農林局 地域整備課
中部総合事務所 県土整備局 計画調査課

【事務局】倉吉市 総務部 防災安全課

<課題対策検討状況1>

課題箇所	課題	対策(実施中)	対策(実施済)
古川沢	R3.7豪雨で道路冠水や床上浸水1戸・床下浸水3戸が発生。これまでの豪雨時にも度々浸水被害が発生。	・北条用水流末となる北条川の改修(県)	・古川沢排水ポンプ(市) …引き続き効果検証 ・避難路の整備(市) ・用水樋門の修繕(市) ・用水樋門の適切な操作(市)
福庭東	R3.7豪雨で道路冠水や床上浸水1戸・床下浸水8戸が発生。 R5.8豪雨で道路冠水、床上浸水7戸・床下浸水10戸が発生。これまでの豪雨時にも度々浸水被害が発生。		・北田川の河床掘削・伐開(県) ・山側の排水路整備(市) ・県と市の北田川管理境界に堰板及びポンプの設置体制を確立(市) ・北田川排水樋門閉鎖時の排水体制を構築(県)
上神 ～和田東町	R3.7豪雨では、道路冠水や床下浸水1戸が発生。 状況：和田排水機場での排水を実施。	・和田排水機場の運用見直しや増強の要望。 ・用水樋門の適切な操作(市) ・不入岡川を含めた流域の浸水被害軽減対策の検討(県)	・和田排水機場による排水実施(国)
堺町 ～余戸谷町	R3.7豪雨では、道路冠水や床上・床下浸水(西町外10町37戸)が発生。 状況：市の排水ポンプ、可搬式ポンプによる排水を実施。	・国の排水ポンプ車配備の要望。 ・浸水地域に流入する雨水排水の玉川改修済区間への変更検討。 ・鉢屋川系統(第11雨水幹線)の整備(市) ・葵中谷川、葵西谷川の土砂流出防止工事(砂防事業)(県)	・上流樋門の適切な操作(県)(市) ・その他樋門の適切な操作(市) ・県道倉吉福本線の道路側溝改良(県)

倉吉市分科会

【構成員】倉吉市：総務部 防災安全課
建設部 建設課、地域整備課
上下水道局 工務課

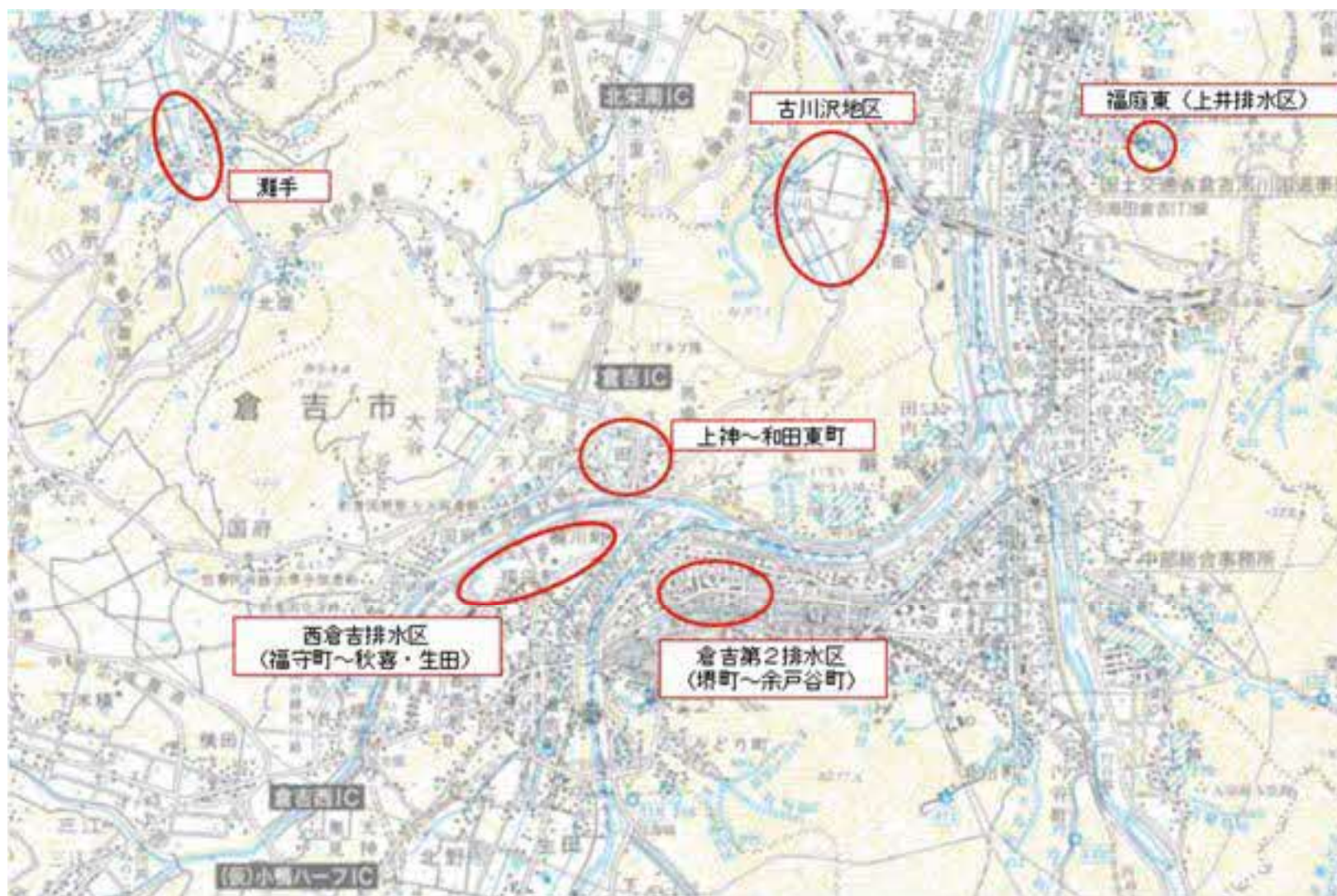
鳥取県：生活環境部 暮らしの安心局 水環境保全課
中部総合事務所 農林局 地域整備課
中部総合事務所 県土整備局 計画調査課

【事務局】倉吉市 総務部 防災安全課

<課題対策検討状況2>

課題箇所	課題	対策(実施中)	対策(実施済)
灘手	R3.7豪雨では、道路冠水や床下浸水1戸が発生。これまでの豪雨時にも度々浸水被害が発生。	・避難路確保のための道路嵩上げの検討(県) ・由良川改修に向けた塩水遡上対策検討(県)	
福守町～秋喜・生田	R3.7豪雨では、道路冠水や床下浸水(西福守町10戸福守町1戸)が発生。状況：国交省の排水ポンプ車による排水作業を実施。	・下水計画の見直し(市)	・逆流発生時に排水ポンプ車による排水実施(国) ・排水ポンプ車導入(市) ・降雨時に用水路の流末を鴨川へ排水する樋門を設置(市)

<課題位置(倉吉市)>



・各機関の取組について

倉吉市の取組

< R 7 年度 の 取 組 >

○排水ポンプ車の導入

- ・ 令和 7 年 5 月 排水ポンプ車納車（倉吉市として 2 台目）
- ・ 成徳地区を中心に市内の浸水常襲地区での使用を想定

< 排水ポンプ車導入の効果 >

○準備時間の短縮、排水量の向上

（導入前）可搬式ポンプ：ポンプ 5 台設置におよそ半日程度かかっていた



（導入後）排水ポンプ車：ポンプ 4 台設置がおよそ1 時間程度となった

〈成徳地区大雨時の状況〉

H30.9 台風24号



R5.8 台風7号



可搬式ポンプ

排水能力：20m³/分（水中ポンプ5台）



排水ポンプ車



R7.11 排水訓練状況

排水能力：30m³/分（水中ポンプ4台）

近年の異常気象（突発的な線状降水帯発生など）に対し短時間で対応できる体制へ

倉吉市の取組

< R 7 年度 の 取 組 >

○排水路監視カメラの設置

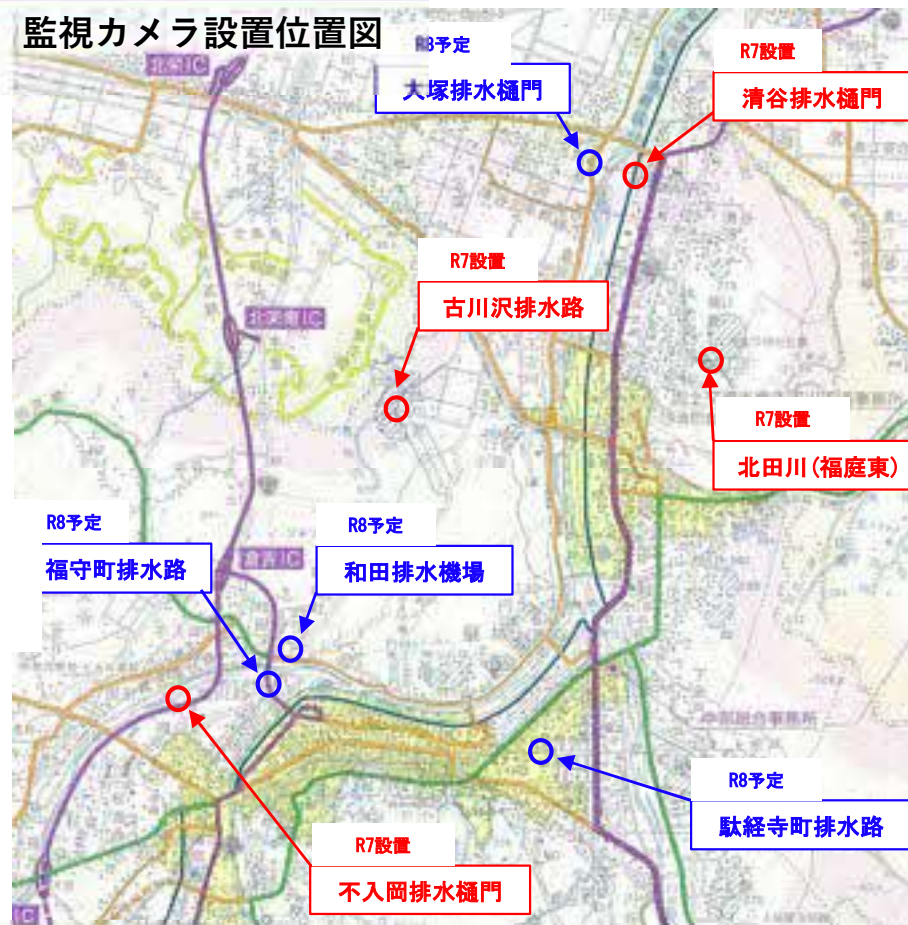
浸水被害が多発する地区において、水位状況を遠隔で監視できるカメラを設置した。（令和7年度に4カ所設置完了、令和8年度にさらに4カ所設置予定）

< 監視カメラ設置の効果 >

- 職員がパトロールや現地に待機することなく、豪雨時に迅速な対応を行うことが可能となった。
- 上下水道局所管の"倉吉市雨水排水路水位観測システム"で閲覧することにより、市内の排水路の水位状況を一元管理することが可能となった。



監視カメラ設置位置図



リアルタイム画像（スマホアプリ）



時系列画像（ウェブシステム）



三朝町の取組

＜継続実施の取組＞について

- 地域単位・住民主体の防災体制づくり
 - ・ 支え愛マップの作成支援
 - ・ 防災出前講座（防災一般・AED講習・消火訓練等）
 - ・ 地域協議会と連携した避難所開設訓練の実施
- 防災教育の実施（三朝小・中学校）
- 災害ケースマネジメントの実施
- 防災アプリ（トリピーナビ・キキクル等）の周知
- 防災無線放送アプリ「コスモキャスト」の運用
- 消防団DXアプリ「コミュたす」の運用
- 関係機関との連携
 - 現状の水害リスク情報や取組状況、課題の共有等

＜今後の減災にむけた主な対策＞

- 流域治水対策における協議（継続実施）
 - ・ 浸水想定地区（大瀬地区）の排水処理対策（仮設ポンプ等の設置）の検討
 - ・ 平時からの用水樋門の適切な操作及び情報共有の徹底



湯梨浜町の主な取組成果【ソフト事業】



■町総合防災訓練
(ドローン輸送訓練)



■防災特別講演会



■防災講習会（各集落、学校）



■要援護者利用施設
職員研修（机上訓練）



■避難所環境整備
マンホールトイレ、ラップポン導入



湯梨浜町の取組

湯梨浜町の主な取組成果【ハード事業】

■新町川排水機場工事中 (令和8年12月25日完成予定)



■田んぼダム 137,292m² (91筆) (原地区)

■東郷湖周 町道の嵩上げ計画



■避難所再生エネルギー 設備稼働 (太陽光発電)

防災学習、研修等を通じた住民への意識啓発

学校の児童、生徒向けの防災学習や地域住民向けの勉強会を実施することにより、防災気象情報の知識普及や命を守るために必要な行動の習得に必要な防災意識の向上を図ることが目的。

○広報活動

防災担当者、住民を対象とした防災気象講演会の開催や、小学校の児童を対象としたイベント等に参加し天気への関心を深めていただくとともに、防災意識を高める取り組みの推進。



防災気象講演会

○災害時要援護者向けの勉強会の実施

災害時に情報の入手が困難な高齢者や障がい者、外国人などを対象に、避難行動に繋がる防災情報の入手や活用方法を解説。



外国人防災勉強会



おてんきひろば(倉吉図書館)



○大雨による災害を想定した防災学習を実施

過去の台風・大雨による被害状況の写真などを活用して、大雨によりどんな災害が発生するのか、自分たちが住んでいる地域でどんな災害が想定され、どのように避難行動を取るのか考えさせる。



防災学習(河原第一小学校)

県危機管理部の取組

○地域の支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上

- ・「支え愛マップ」は地域住民が主体となって作成するもので、平成24年度から取組開始。
- ・県、市町村、県社協、市町村社協が支援し、作成を促進。

○各種ツールによる県民への周知

- ・あんしんトリピーメール、防災アプリ(あんしんトリピーなび)等の多様なツールを活用し、避難情報や警報など、いち早く情報を届ける。

○広域避難の取組推進

- ・市町村の行政界を超えた事前の広域避難について市町村と検討を開始。

○災害ケースマネジメントの推進

- ・鳥取県中部地震を契機に、被災者一人ひとりに寄り添った生活復興支援を平成30年4月から開始。
- ・令和4年10月に県、市町村、専門士業団体、県社協等で構成する「災害ケースマネジメント協議会」を設立し、関係機関が連携して災害ケースマネジメントに取り組む体制を構築。

＜支え愛マップづくりの様子＞



＜災害ケースマネジメント：訪問調査の様子＞



田んぼダムの取組拡大に向けて

【R5年度までの取組】

●田んぼダムの効果を見える化した「田んぼダムモデルほ場」を設置。実証研修と併せ、不安視される水稻への生育影響調査を実施した。

- ・参加した98%の方が田んぼダムの効果や実施方法(堰板設置等)を理解された。
- ・田んぼダム想定区画で水稻を作付。収量・品質面ともに生育への影響は無し。

■水稻の生育影響調査

- ・田んぼダム想定区画では豪雨(数回湛水。20cm・2日間)を再現。収穫後、収量・品質を比較。
- (結果)生育収量への影響は確認されない。



モデルほ場の設置(田んぼダムの効果の実証)



実証研修の様子
(8回開催。延べ392名が参加)

【R6年～R7年度の取組】

●多面的機能支払交付金の活動組織を対象とした出前研修会を実施。
R7年度は、東部地域の取組農家の声を盛り込み、西部地域へ普及・展開。

取組に対する農家の不安を解消

- ・R7年度は、西部地域を中心に6市町(合同開催含む)で計5回。地元、町の事業担当者や防災担当者等、延べ300名以上が参加
- ・取組農家の声(取組のきっかけ、堰板の管理方法、畦畔や収量・品質に関する影響)を紹介し、取組に対する不安解消に努めた。
- ・多面的機能支払交付金で取り組む場合の加算措置制度を含め、外部人材活用による「農山村ボランティア」や「むら・まち支え合い共生の里」事業の提案・PR。(例: ボランティアを活用した田んぼダム用堰板の作成などを提案)



出前研修の様子
(5回開催。延べ300名が参加)

●八頭町日田地区で畦畔補強や法面保護工等の水田貯留機能向上に向けた整備を開始。

- ・ほ場整備から約40年経過し、畦畔の崩れが散見、水管理及び畦畔の草刈の管理に支障を来している地区において、R7年度から国事業(農地耕作条件改善事業)を活用し、畦畔補強や法面管理省力化を目的としたカバープランツの導入に着手。
- (背景: 令和3年8月豪雨、令和5年台風7号の豪雨を契機に地元の水害対策に対する意識が向上)
- ・田んぼダムに安心して取り組めるよう基盤を整備し、豪雨による被害防止を図る。



畦畔補強の施工状況



畦畔補強後



田んぼダム実施想定エリア

<取組成果>

●R7年度から新たに10地区(内、千代川流域5地区)で取組が開始される等、着実に浸透。

(西部地域でも、R7年度から南部町で1地区、R8年度から日南町で1地区の取組開始予定) ※下段の()は千代川流域の数値

R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度(累計(見込み))	
地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
10	60	17	147	21	271	25	328	35	489
(9)	(54)	(14)	(121)	(16)	(185)	(18)	(190)	(23)	(231)



資料の一例(中山間地の取組農家の声)



資料の一例(平地の取組農家の声)

多面における田んぼダムの取組（R7年度）



防災重点農業用ため池における流域治水対策等の取組

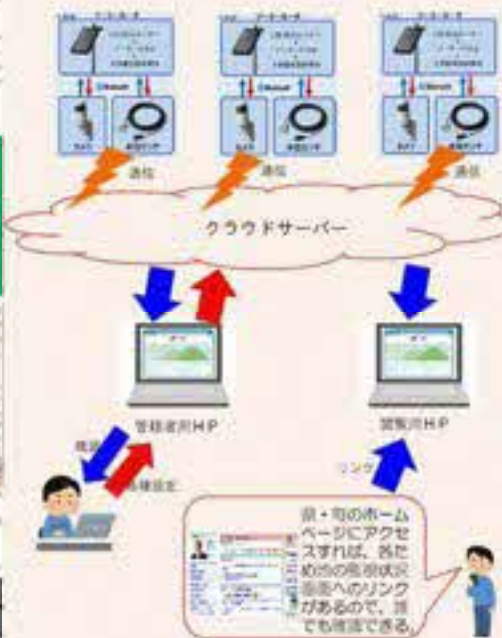
ソフト対策

ため池ハザードマップの作成



監視カメラ・水位センサーの設置

■概要図



■設置状況



■カメラ画像



■水位データ



避難訓練の実施



※日頃から、地域内の防災意識醸成、連絡体制整備による避難体制構築が求められます。

ハード対策



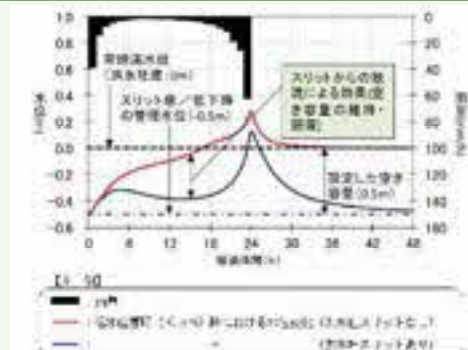
洪水吐越流堰スリット

鳥取市上段 瀬戸谷池（工事実施中）

ため池洪水吐へのスリット付与



事前放流H=500mm



※洪水吐越流堰等へスリットを設けることで、スリット深さに対応した空き容量を確保。
⇒手間をかけずに低水位を保つことが可能。

天神川水系における流域治水の取組

天神川改修(国)



小鴨川(生田地区)の堤防・河岸侵食防止対策(国交省)



国府川 現存霞堤 保全活用(国)



天神川水系バックウォーター区間河道掘削・伐開・堤防舗装(県) 重点実施

加茂川掘削伐開

着工前



完成

鴨川堤防舗装

着工前



完成

北谷川掘削伐開

着工前



完成

栗尾川堤防舗装

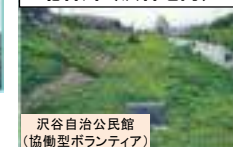
着工前



完成

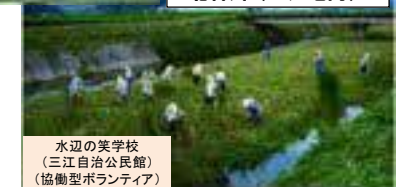
河川ボランティア伐開除草(住民)

北谷川(沢谷地内)



沢谷自治公民館(協働型ボランティア)

北谷川(三江地内)



水辺の英学校(三江自治公民館)(協働型ボランティア)

ボランティア制度改正

スーパーボランティア促進事業において、活動交付金に加えて、伐開除草に必要な機械使用料等が計上できるようになりました。

排水ポンプ場整備・耐水化(市)

上井雨水排水ポンプ場耐水化



まるごとまちごとハザードマップ(国県市)

倉吉河川国道事務所の標識設置



中津(発電)ダム事前放流(県企業局)

中津ダム(発電用ダム)

- 24時間雨量が346mm以上が予想される場合に事前放流を実施。
- 調整水位
常時満水位H=16m→目標水位H=5.5m
- 洪水調整可能容量
78.3万m³

橋津川水系(橋津川・東郷池・東郷ダム)における流域治水の取組

橋津川不法係留対策(住民・漁協・町県)



不法係留禁止
区域指定H30.4

東郷池周辺避難路(県道嵩上)(県)

整備状況【上浅津】



浸水状況【上浅津】
H29.10.23 台風21号



東郷池バックウォーター区間 河道掘削・伐開、堤防舗装(県)

東郷川掘削伐開
着工前



完 成



羽衣石川堤防舗装
着工前



完 成



橋津川水門長寿命化対策(県)

避難路確保
(県道嵩上)
(県)

避難路確保
(町道嵩上)
(湯梨浜町)

湯梨浜町

東郷池湖岸堤整備(県)

排水ポンプ場整備(湯梨浜町)

東郷ダム事前放流
(県・町)

川上川砂防(県)

避難路確保(道路嵩上げ)
(鳥取県)

田んぼダム(集落活動組織)

龍島排水機場 R4.10完成

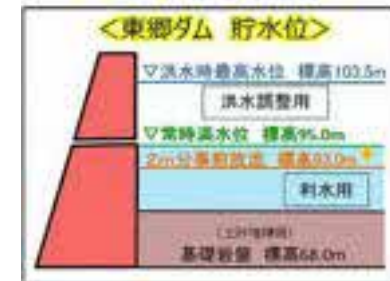


排水ポンプ場(松崎地区)(町)

東郷池改修(湖岸堤防整備)(県)



東郷ダム事前放流(県町・住民・農業者)



R2
~

支え愛マップを活用した地域の
防災体制づくり (住民・町県)



河川ボランティア伐開除草(住民)

埴見川(門田橋~新門田地区)



門田区
(協働型ボランティア)

由良川水系(由良川・北条川)における流域治水の取組



由良川塩水遡上対策(県市町・農業者)



河川改修と気候変動による
潮位上昇に対応した
塩水遡上対策

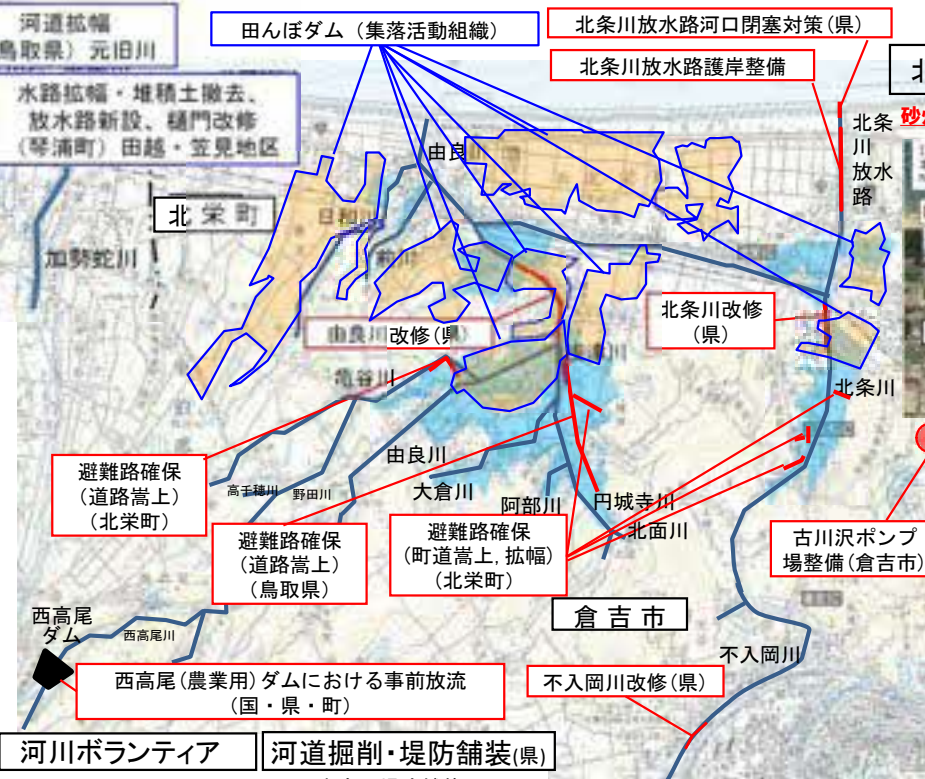
⇒農業用ポンプ場表層取水
(R3-4実証実験,R5～設計)

避難路確保[町道嵩上げ](北栄町)

由良川(大島・亀谷地区)



北条川(米里地区)



河川ボランティア
円城寺川藻刈



河道掘削・堤防舗装(県)
由良川堤防舗装



古川沢
排水ポンプ(市)



北条川流域浸水対策
(県町・住民)

リアルタイム雨量・水位による
洪水予測システム開発(R3～試行)



北条川AI技術による河川管理高度化(建技・県)



北条川放水路整備(県)

人家連担部護岸H30完成⇒下流護岸重点整備



県治山砂防課の取組 かせち 加勢蛇川、本谷奥国有林、野井倉地区(加勢蛇川水系・鳥取県琴浦町)

総合的な流木災害防止対策を実施する契機

平成23年9月3日に台風12号による集中豪雨等により山腹崩壊が発生し、溪流内に不安定な土砂とともに倒木が堆積しており、今後の出水によりこれらの土砂や倒木が流出して流木災害が発生する恐れがある。

過去の災害発生時の状況



事業概要

	砂防事業	治山事業		
事業名	火山砂防事業 H24～ 社会資本整備総合交付金 R1～ 大規模特定砂防等事業費補助	水源地域整備事業	復旧治山事業	林地荒廃防止事業 H24 一括交付金 H25～ 農山漁村地域整備交付金
事業主体	鳥取県	近畿中国森林管理局	近畿中国森林管理局	鳥取県
事業期間	平成24～令和6年度	平成26～30年度	令和2～7年度	平成24～29年度
全体事業費	855,000千円	490,000千円	33,700千円	103,100千円
整備内容	透過型堰堤工1基	山腹工4.47ha 谷止工1基 床固工3基	浚渫工2036.2m3	山腹工0.5ha

事業連携による成果

- ◎砂防事業：下流への土砂流出防止対策として透過型堰堤工を整備
◎治山事業（国有林）：山腹崩壊地及びその周辺の荒廃溪流対策として山腹工、谷止工等を整備。
◎治山事業（民有林）：山腹崩壊地の復旧対策として山腹工を整備

この事業連携により、上中流の発生源対策及び下流域での土砂流出防止対策が可能となり、総合的な流域対策が可能となった。



令和7年度の取組状況(鳥取県:河川課)

＜防災学習、イベントによる啓発活動＞

- ・ イベント出展やラジオ出演による積極的な広報活動を展開している。
→ 地元からの要望があり、「美保南地区デイキャンプ」「若葉台フェスティバル」「宝木地区 雨水貯留タンク視察」「鳥取市総合防災訓練（稲葉小）」に参加した。
- ・ 雨水貯留設置をキッカケとした防災学習について学校関係者へ呼びかけ、防災学習の実績が増えている。
→ 大路川流域の校長先生に防災学習の効果や流域治水の取組をPRし、防災学習の実施を提案した結果、若葉台小学校、津ノ井小学校、米里小学校での防災学習が実現した。



防災フェスタ（米子市開催）



鳥取市総合防災訓練（稲葉小）



美保南地区デイキャンプ



宝木地区雨水貯留タンク視察
（面影地区公民館）



若葉台地区フェスティバル
& 地区文化祭



青翔開智中学校 職場体験
→ 「流域治水」を研究テーマに選定



防災学習（米里小学校）



ラジオ出演

県河川課の取組 樋門操作の省力化推進中！

県管理の手動式樋門(199基/全238基)のうち、氾濫規模等から優先順位が高い樋門160基について、「操作員の負担軽減」、「開閉の迅速化」による省力化を目的として、『樋門の電動化』を推進しています。

【事業背景】

- ・樋門は**地域住民**(市町村委託)が**操作**している。
- ・開閉作業は1基10分も要する**重労働**である。
- ・**操作員の高齢化**が進む中、負担軽減の要望が上がっている。
- ・**ボタン操作**による電動化は**多額の費用と時間を要する**。

⇒大規模な施設改修は時間もお金もかかるため、
手動樋門を電動ドリルで開閉できるよう改造し、整備する。

【事業スケジュール】

予算年度	基数	状況
令和4年度	51	51基完了
令和5年度	58	58基完了
令和6年度	23	23基完了
令和7年度	26	26基完了
令和8年度	2	実施予定
合計	160	

【効果事例】 ⇒252秒の時間短縮(労力も軽減！)



5～10分近くの全身運動💦



指先一つで上げ下げ可能。
しかもあっという間！



電動ドリルでの
作業状況

【お知らせ】

※河川課HPで、
導入効果、操作方法等
を公開しています。



動画①
(効果検証)



動画②
(ドリル取扱)



動画③
(樋門操作)



(5) その他・情報提供

雨水貯留タンク設置の取組

令和8年6月1日
鳥取県県土整備部河川港湾局河川課

雨水貯留タンクの実施状況（鳥取県：河川課）

＜雨水貯留タンク試行設置の推進＞

- ・若葉台小、福部町総合支所、打吹小、会見小の4箇所に1000ℓの雨水貯留タンクを設置。
- ・令和6年度に引き続き、全県展開を進めている。（合計11基 設置完了）



鳥取市立若葉台小学校



福部町総合支所



倉吉市打吹小学校



南部町立会見小学校

＜キャラクター、グッズ制作による効果的な広報＞

- ・治水のイメージキャラクターとして雨水貯留タンクをモチーフにした「ためぞうくん&はなみちゃん」を制作し、防災学習や防災フェスタ等のイベントや各種媒体に用いて、一般の方に親しみやすく、わかりやすい普及啓発に努めています。



啓発グッズ【自由帳、シール】



防災学習やイベントで配布



啓発チラシ

雨水貯留タンク設置の取組について(鳥取県、鳥取市、倉吉市、湯梨浜町)

これまでの取組

公共施設への試行設置

「雨水貯留タンク」を実際に見て、治水上の役割と雨水の活用を理解していただくよう、公共施設等での試行設置(1000ℓ)を全県で進めている。



美保南小学校(鳥取市宮長)



小規模多機能施設しじみの郷
(湯梨浜町上浅津)

グッズ制作による効果的な広報

- 雨水貯留タンクのキャラクター「ためぞうくん&はなみちゃん」を制作
- 一般の方にわかりやすい広報活動



啓発チラシ



啓発グッズ
(自由帳、シール)

要望の声の広がり

- モデル地区(大路川流域)の協議会やイベントの参加者から多くの要望や問合せがある。
- 住宅メーカーから要望がある。
- 美保南地区と市の懇談会で地区が強く要望された。



2025鳥取市総合防災訓練



2025宝木地区出前講座

災害を自分事として捉える
防災意識の向上に寄与

実施内容(雨水貯留タンク設置の補助制度)※予算要求中

<補助対象>

県内の住宅等に雨水貯留タンクを設置する個人等(行政が所有する公共施設を除く)

<事業主体>

市町村(間接補助)【令和8年度実施:鳥取市、倉吉市、湯梨浜町】

<補助対象経費>

雨水貯留タンク設置に係る経費(材料費、施工費)

<補助割合>

市町村 1/3、県 1/3、個人 1/3

<上限>

1個人あたりの県補助金2万円を上限
(材料費2~3万円+設置費2~3万)×1/3

家庭用タンクの事例



容量120ℓタンク

取組の拡大

期待される効果

住民自らが雨水貯留タンクを設置するきっかけを創出することで、

- ・設置時に町内単位で計画している防災学習や設置者の口コミ、SNSを通じた情報発信により、流域全体の防災意識向上と自主的な避難行動の定着を促す。
- ・流域全体での相互理解を深め、特に田んぼダム等の取組の意欲が高まり、雨水貯留対策の相乗的な効果を生み出す。
- ・防災及び公共事業への理解と共感が醸成され、河川整備(ハード対策)の円滑な事業推進につながる。

ぼうさいこくたい2026in鳥取

ぼうさいこくたいの開催

- 中部地震10年の節目に、防災関係者が一堂に会する日本最大級の防災イベント『防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）』を令和8年10月17日(土),18日(日)に倉吉市で開催。
- 全国各地から多くの来場が見込まれる本大会の開催を契機として、鳥取県の先進的な防災分野の取組のみならず、食・観光や産業等の特色・魅力を広く全国に向けて発信。

ぼうさいこくたい2026概要

開催日	令和8年10月17日(土),18日(日)
開催場所	鳥取県倉吉市(主会場:エースパック未来中心)
鳥取開催の特色	○中部地震10年を踏まえたセッション ○鳥取県の先進的な取組(災害ケースマネジメント、支え愛マップ等)の発信・共有 ○若者・女性視点による多様な防災関連企画(例)学生による「鳥取版HUG(避難所運営ゲーム)」の体験 ○防災訓練・訓練体験 等

鳥取県情報ポータルサイト
“鳥取県の情報 盛りだくさん!!”

行き方(交通) 併催イベント 豊富な観光名所 食の魅力

○大会情報について、詳しくはポータルサイトから ⇒



鳥取県併催イベント ～見て・食べて・体験して・行動へ！～

防災訓練・体験

放水・煙脱出体験・防災運動会など楽しく学べる体験



防災産業展示

県内企業の技術・防災展示、地震体験車、消防車等働く車展示



食パラダイス鳥取

鳥取のグルメ・スイーツ 防災食・炊き出しなど

